

「人と自然が輝き、 人が拓く、多機能都市」 の実現を目指して



霧島市長
前田 終 止

私たちのふるさと霧島市は、平成17年11月に旧1市6町の合併により誕生し、新たなまちとしての歴史がスタートして早や2年が経過いたしました。

本市は、南九州3県の交通の要衝でありますとともに、豊かな自然、悠久の歴史を誇る地域でもあり、日本最初の国立公園である自然豊かな霧島連山と天降川、そして湾奥の海は、私たちが祖先から引き継いだ大事な宝物です。この貴重な財産は子孫や後世に残していく必要があります。また、将来にわたって誇りある「美しい霧島市」「私たちのふるさと」でなければなりません。

地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化の急速な進展に伴う社会的課題、地球的規模での環境問題、高度情報化社会の到来などにより大きく変化しており、それらの変化に柔軟に対応していくことが必要であります。

また、地方分権が進み、様々な権限が国や県から移譲されることに伴い、新しい分野やより専門性が求められる分野があり、これらに対応するためには、職員の資質向上を図るとともに、厳しい財政状況に対応できる体制づくりを進め、県央の域域中核都市としての機能強化を図り、自治体自らの責任と判断で行政運営に取組んでいくことが求められています。

このような状況の中で、「世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあふ都市」をまちづくりの基本理念とし、さらに、まちの将来像「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」の実現をめざして、市政全般にわたる施策を体系化し、市民と行政との協働によるまちづくりや効果的かつ効率的な行政運営を行うために行政評価を活用した「第一次霧島市総合計画」を策定いたしました。

この計画は、市民一人ひとりが、我がふるさととして快適で愛着の持てる安心・安全なまちの実現をめざすものでありますので、市民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました市民、地域審議会の皆様をはじめ、熱心にご審議いただきました総合計画審議会委員並びに関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成二十年三月